

基本課題V 社会参画（政策・方針決定の場へ男女が平等に参画する）

目標1.1 政策・方針決定過程への女性の積極的参画と登用促進

施策	具体的な施策	実施状況	男女共同参画の視点	担当課
(1) 政策・方針決定の場への女性の登用促進	①審議会等への女性の登用促進 一方の性に偏ることなく、市民の声を市政に反映させるよう努めます。 ・全ての審議会等で一方の性が30%を下回らない委員構成 ・公募制度の推進と公募枠の拡大	・全ての審議会等で一方の性が30%を下回らない委員構成 平成22年度4月1日における附属機関の女性委員の割合は29.8%である（地方自治法第138条の4第3項に基づく附属機関で算出）。 ・公募制度の推進と公募枠の拡大 委員改選のあった附属機関を所管する部署を中心に、公募及び性別の配慮を働きかけた。 一方の性に偏ることなく、市民の声を市政に反映できるよう、 12の附属機関で公募を実施した。総数で42人の方から申し込みがあり、その内女性は6人だった。選者は、女性の積極的な登用にも配慮しながら実施した。	4	行政改革推進課
		・女性職員の職域拡大と人材育成 平成22年度の管理職昇任選考は、受験対象者411人（男性292人・女性119人）、受験申込者53人（男性50人・女性3人）、最終合格者18人（男性18人・女性0人）であった。 また、平成19年度から部長推薦において女性枠を設けており、平成22年度は3名の推薦があり、いずれも合格した。また、5級職で保育園長の任にあっていた職員17名を管理職に昇格した。これらにより女性職員を新たに20人管理職へ登用した。	4	行政改革推進課
	②女性職員の管理職への積極的登用 市役所女性職員の管理職への登用の機会を拡充します。 ・女性職員の管理職への積極的登用	・女性職員の職域拡大と人材育成 平成22年度の管理職昇任選考は、受験対象者411人（男性292人・女性119人）、受験申込者53人（男性50人・女性3人）、最終合格者18人（男性18人・女性0人）であった。 また、平成19年度から部長推薦において女性枠を設けており、平成22年度は3名の推薦があり、いずれも合格した。また、5級職で保育園長の任にあっていた職員17名を管理職に昇格した。これらにより女性職員を新たに20人管理職へ登用した。	1, 3, 4	人事課

	<p>③市民活動団体役員への登用促進 女性が役員会等の意思決定の場へ参画できるよう、働きかけます。 ・町会・自治会・市民活動団体・PTA等への働きかけ</p>	<p>・町会・自治会・PTA等への働きかけ 町会・自治会・区役員の手引きを作成・配布し、町会長等及び役員への女性の登用を促す内容を掲載した。 平成22年度町会・自治会長・区長284人のうち、女性は14人である。</p>	3	地域支援課・男女共同参画室
(2) 女性のエンパワメントに向けての環境整備	<p>①人材リストの整備と活用 男女共同参画社会の実現への尽力が可能な個人および団体のリストを整備します。 また、審議会等の女性委員の登用率を高めるため、リストの活用を図ります。 ・フェザーリストの整備・活用</p>	<p>・フェザーリストの整備・活用 平成22年度はリストは県の人材リストを配備し、庁内の問い合わせに備えた。</p>	4	男女共同参画室
	<p>②女性のエンパワメントに向けての学習プログラムの充実 女性のエンパワメントに必要な学習プログラムの充実を図ります。 ・男女共同参画講座の開催</p>	<p>・男女共同参画講座の開催 平成22年度は沼南公民館の女性セミナーの一講座を依頼され、「男女が協力して創造する社会づくりに向けて」というテーマで、県と共同で講座を実施した。</p>	1, 4, 5	男女共同参画室

目標12 防災・災害復興への女性の参画

施策	具体的な施策	実施状況	男女共同参画の視点	担当課
<p>(1) 防災に関する政策・方針決定過程への女性の参画</p>	<p>①防災会議等への女性の登用促進 男性にかたよるかちな防災の分野に、女性の声を反映するよう努めます。 ・防災会議等への女性の登用促進、および積極的に女性の声を反映できる仕組みの検討</p>	<p>・防災会議等への女性の登用促進、および積極的に女性の声を反映できる仕組みの検討 ・防災会議の委員は、柏市域に係わる防災関係機関の代表で構成されており、女性委員は41名中4名である。 また、国民保護協議会の委員についても、同様の理由から、現在41名中5名である。 防災会議等の委員の内、防災関係機関については、代表に女性が就任していないため、構成比率が低くなっている。</p>	<p>1, 2, 4, 5</p>	<p>防災安全課</p>
	<p>②女性消防職員の積極的採用・登用 防災の現場に女性職員が配置されるよう、女性消防職員について、積極的な採用・登用に努めます。その人材育成や管理職への登用の機会を拡充します。 ・女性消防職員の採用、人材育成と管理職への積極的登用</p>	<p>・女性消防職員の採用、人材育成と管理職への積極的登用 採用区分を上級職、初級職、救急救命士と3区分とし、男女の区別無く募集を実施した。130名の受験者のうち、救急救命士有資格者の女性1名が合格し、平成23年4月1日に採用に至った。 また、女性職員の人材育成として、1名が救急救命士養成研修所へ入校し、救急救命士資格を取得した。これにより女性の救急救命士有資格者は4名に増員した。また、消火隊員2名、救急隊員5名、指令業務3名の合計10名の女性職員を交替制勤務職に登用した。 女性の管理職職員4名のうち、1名を課長に登用した。</p>	<p>1, 4, 5</p>	<p>消防局</p>

(2) 男女共同参画の視点に立った地域防災計画等の見直し	①男女共同参画の視点に立った地域防災計画等の見直し 地域防災計画・各種対応マニュアル・支援策に、被災時の男女のニーズの違い等、男女双方に充分配慮しているかの視点を踏まえるよう努めます。 ・地域防災計画等の点検および見直し	・地域防災計画等の点検および見直し 地域防災計画の見直し検討を行ない、女性の視点から見た防災施策を推し進めていくことを再確認した。	1, 4, 5	防災安全課
	②災害時における女性の人権の尊重 災害時における女性をめぐる問題を人権問題の観点から洗い出し、地域防災計画等の運用に活かす。 ・災害時の女性問題及び解決策の検討	・災害時の女性問題及び解決策の検討 過去の被災地での体験談から、避難所においての授乳・着替え時等において、パーテーションの設置によるプライバシーへの配慮が重要だと感じている。 このことから、22年度においては21台のパーテーションの購入を実施した。現在、柏市が保有するパーテーションの合計は124台になった。 また、22年度、災害時援護者対応として20台の仮設洋式トイレを購入した。	4, 5	防災安全課
(3) 地域における防災意識の向上および女性リーダーの育成	①地域における防災意識の向上および女性リーダーの育成 緊急時の対処法、復興時の体制等に関する知識の普及・学習機会の拡充を図ります。その際、女性の参画を促進し、災害時・復興活動における女性リーダーの育成に努めます。 ・防災講座の開催 ・女性リーダーの育成	・防災講座の開催 各町会・自治会や自主防災組織に対する防災講習会を59回実施し、2,397人(内女性1,232人)参加した。 女性や中高校生の参加を促すよう努める。	5	防災安全課
		・女性リーダーの育成 自主防災組織の育成に努め、平成22年度末現在で190組織が結成されており、前年度に対して3組織が増加しました。 なお、その内、防災推進委員等の役目を担っている女性の数は33名であり、全体の数385名に占める比率としては8.57%である。	4, 5	防災安全課